

長沼レガッタ競漕上の注意事項

＜競漕委員会から＞ ※9ページの競漕規則からの抜粋も参照のこと

1. クルーの登録選手に変更（3名まで）がある場合は、事前に「登録選手変更届」の用紙（巻末2枚目のもの）に記入し、大会当日受付時まで競漕委員会へ提出すること。受付後の変更は認めない。
2. 登録した選手で競漕に参加すること。登録していない選手の出場は認めない。
3. 漕手間でのシートの変更のみの場合は、「選手交代届」を提出しなくてもよい。
4. 漕手と補欠の選手間、舵手と漕手間でシートを変更する場合は、発艇時刻60分前までに、「選手交代届」（巻末のもの）を、その都度、競漕委員会に提出すること。
（男子KFは漕手の総年齢の区分を設けているので、必ず提出すること）
5. レースを棄権する場合は、発艇時刻60分前までに、「棄権届」（巻末のもの）を競漕委員会に提出すること。棄権したクルーは、その後の競漕には出漕できない。
6. 雨の場合は大会を行うが、強風と雷の場合には大会を中止することがある。
7. 艇の故障等で修理に時間を要する場合は、レースの入れ替えを行う場合もある。
8. 予選に出場しないクルーは、敗者復活戦があっても出場できない。
9. 予選以降のレースの組合せは、着順によって決める。

＜審判部から＞

1. 発艇時刻に遅れないよう配艇を受け、発艇時刻5分前までにスタート位置に着くこと。
2. 発艇（スタート）の合図は主審が審判艇（モーターボート）上から行う。
3. 発艇直後にスタート保持ロープがラダーロープ等に引っかかった場合はスタートをやり直す。（その場合は、舵手が手を挙げ、主審にアピールして知らせること）
4. カヌーのスタートは1,800m付近から、フリースタートで行う。審判やカヌー誘導委員の指示に従い、コース内に入り、スタートまで位置を保っておくこと。おおむね発艇線上にそろった時点で主審がモーターボート上から発艇の合図を行う。
5. レース中、レーン侵害の恐れのあるとき又は、接触や妨害の恐れがある場合、主審は白旗を上げクルー名を連呼し警告を行うが、方向を正し止まらずに漕ぎ続けること。ただし、操舵指示を行う場合や当該艇を止める場合もあるのでそれに従うこと。
6. ゴールした艇は、主審が白旗を上げるまでゴール付近で待機していること。
7. レースに異議がある場合は、主審が白旗を上げる前に挙手してアピールすること。

＜施設部から＞

1. 練習時のコース使用について（10ページ参照のこと）
2. 大会当日の艇の流れについて（11ページ参照のこと）